

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 養護老人ホーム	内線等	8004
事務事業名	施設の管理・事務事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	老人福祉法		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	養護老人ホームの
手 段	施設の管理や事務事業を行うことによって
想定する成果	快適で楽しい老後の入所生活ができる場の提供をする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
延入所者数 （入退所人員）	318人 （入所1人・退所1人）	289人 （入所1人・退所6人）	360人 （入所1人・退所1人）

成果指標

成果指標名	入所充足率
成果指標の説明	延入所者数/延定員（600）

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		53.0%				48.2%				60.0%			
成果指標													
事業費	事業費	8,547				9,573				11,764			
	人件費	11,676				11,715				11,768			
	(人数)	正規	1.5	非常勤		正規	1.5	非常勤		正規	1.5	非常勤	
	合計	20,223				21,288				23,532			
財源内訳	国	0				0				0			
	県	0				0				0			
	市債	0				0				0			
	その他	4,005				4,633				4,089			
	一般財源	16,218				16,655				19,443			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	施設の老朽化が目立つてきた。快適な日常生活が続けられるよう改善・修繕を継続してきている。
経済効率性	2	2	2	2	国基準の措置費の範囲内で効率よく予算配分し、快適な日常生活が過ごせるよう努力している。
事務効率性	2	2	2	2	職員は国の「職員配置基準」に基づき配置しているが、事務は、複雑化している。
必要性	1	1	2	2	高齢者福祉における社会的援助が必要な人への位置づけをしている。養護老人ホームとしてこれからの役割、機能的な運営を検討していく必要がある。
小計	7	7	8	8	
施策への貢献度	1	-	1	-	慰問・ボランティア・奉仕に来てくれる人から、生の声を聞く。
合計	8	7	9	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	養護老人ホームは、昭和46年開所(37年経過)し、老朽化が進み建替えの時期をむかえている。入所者が生きがいを持ちプライバシーの保護をしていくためにも、蒲郡市総合計画の施策を進めつつゆったりとくつろげる施設づくりを視野に加え検討整備していきたいと考える。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
トイレのドアが老朽化で清潔感のあるドアに取替えたい。
上記改善点の実施状況
トイレに洋便器にしてから、入所者が身体虚弱者に対して楽に使用できるようになった。

今後さらに改善すべき点

職員のトイレが、狭いので広くしたい。高齢化による対応策として入所者のトイレをバリアフリーにして、清潔トイレに掃除の軽減を図りたい。
---

平成21年度予算に反映する項目

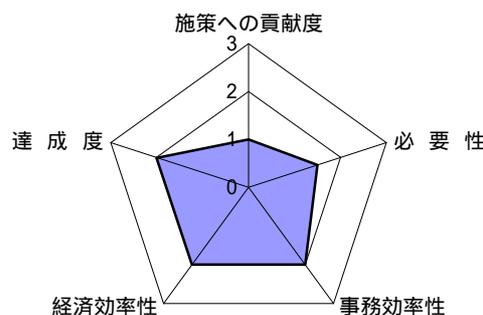
・シャワートイレの増設及び段差の解消
--------------------

今後の方向性

現状維持
------

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点